



クラス通信



木田幼稚園
令和4年3月号

昼夜の寒暖の差はありますが、お昼のポカポカな陽気がすっかり春を感じさせてくれます。

お子さん達は進学・進級を楽しみにする一方、「次は〇〇組だね、先生は誰だろう?」「卒園しても一緒に遊ぼうね」「みんなと離れ離れになるの寂しいな」と友達との別れを惜しむ声も多く聞かれます。一人ひとりが期待とけじめの意識を持ち卒園式・修了式を皆が笑顔で迎えられるよう願っています。

☆ひなまつり集会

3月3日(木)にこころホールにてひなまつり集会を行いました。理事長先生から幼稚園に飾られたシュタイフのひな人形と博多人形についてのお話があり、お子さんからは「お内裏様は剣、お雛様は檜扇を持ってるんだね」「十二単って12枚も着物を着るんだね」などといった声が聞かれました。また、各クラスにはお子さん1人ひとりの健やかな成長を祈り、担任と共に内裏様とお雛様や五人囃子・三人官女を飾りました。

☆マラソン大会

3月2日(水)に1月から取り組んで来たマラソンの最終回として、マラソン大会を行いました。「頑張るぞ」「最後の目標は8周だね」と意欲的に取り組んだお子さん達。2か月間のマラソンを通し体力もつき、全員が目標の距離を走りきることが出来、理事長先生より金メダルを頂きました。「やった!走りきれた!」「金メダルだ!」と達成感を感じていたお子さん達でした。マラソンを通して、友達と走る楽しさを味わい一人ひとりが目標を持ち、最後まで諦めずやり遂げる強い心が身に付きました。

☆ほし組

早いものでお子様達がほし組に進級し、1年が過ぎようとしています。自分の事よりも相手の事を考え、教師やお友達のために進んでお手伝いをしたり、困っているお友達に優しく手を差し伸べることが出来るとても優しいほし組さん。進級した当初から思い返してみると、年長組になり初めて取り組むお茶のお稽古・将棋指導・Ee そろばん・手作り絵本・書写文字指導(漢字)等と新しく取り組む活動にも教師・専任講師の話我真

剣に聞き、新しく学ぶことには目を輝かせて話を聞くお子さん達の様子に私自身も初心に戻りお子さん達を見て見習うことが沢山ありました。お泊り保育・体育発表会・学園まつり・音楽発表会などの行事を通して、沢山の思い出を作れた事とても嬉しく思います。勝負事には常に全身全霊で取り組み、勝敗に一喜一憂したり、友達のことを思いやりみんなで助け合うことが出来る、とても優しいお子さん達が大好きです。そんな皆もうすぐ小学生になります。卒園が近づくと「ランドセルは何色?」「僕は〇色!」とランドセルの話題で盛り上がったり、「卒園しても一緒に遊ぼうね」「まだ幼稚園にいたいよ」と卒園が寂しくて泣いたりする様子が見られました。木田幼稚園を卒園しても、何事にも教師の話をしっかり聞き真面目に取り組む、立腰の姿勢や挨拶をすること、開けたドアは閉める、返事をするときはしっかりと指先をそろえて手を挙げるなど木田幼稚園で学んだことを忘れずに、また、皆の長所であるお友達の事を思いやる優しい心を持ち続けて小学校に行っても新しい友達を沢山作り、楽しい小学校生活を送ってください。みんなと過ごした1年間の思い出は先生にとっての宝物です。



☆ぺんぎん組

ぺんぎん組に進級し、早くも1年が過ぎようとしています。進級当初から年下の友達の手伝いを積極的にしてくれていたお子さん達は「今度は、僕たちが一番大きい組になるんだね」「泣いている子には、優しくしてあげるんだ」と年長組への進級に意欲で満ち溢れている様子です。

進級当初は、まだまだ自分中心で物事を進めていたお子さん達も、この1年を通して「互いに人を思いやる心」が持てるようになりました。

困っている友達には皆が声を掛け、自分が助けてもらった次は友達を助けてあげる、そんなお子さん同士のやり取りを嬉しく思い力強さを感じます。

今後も1人ひとりの長所を伸ばし、年長組でもさらに活躍できることを願っています。一年間ご協力いただきました保護者の皆さま、本当にありがとうございました。



☆りす組

早いもので3月を終えようとしています。

4月には「幼稚園に行きたくない～」と涙を流していたお子さんも「先生今日は何するの?」と笑顔で登園する姿が見られ、とても嬉しかった日がつい先日のように感じます。りす組になってから様々な活動、行事、専任講師による指導が少しずつ増え、自分一人ではできなかったことが出来るようになり、達成感を味わいながら過ごしてきました。

「もうりす組だから自分でできるよ!」と逞しく、嬉しそうに教師に教えてくれたときは一緒に喜び、友達と喧嘩したときはどうすればよいのか考えたり、心身ともに大きく成長しました。

目まぐるしく過ぎ去った1年でしたが思い返すとどれも充実した毎日でした。

この一年はお子さんが本当に成長した1年となりました。

そんな毎日を笑顔で過ごすことが出来たのはお子さん、そして保護者の皆様のおかげです。

1年間、本当にありがとうございました。そして、22名のお子さんの更なる成長を心より願っています。



☆きりん組

お子さん達の初めての社会生活1年間が終わろうとしています。ご家庭から離れ、教師やお友達と過ごす一日に親子共々様々な緊張や不安を持たれたスタートだった事と思います。年齢的にもまだ甘えたくて、ぐずったり、涙したり・・・。「抱っこ」や「おんぶ」で過ごした毎日。そんな日々の中で食事・排泄・衣服の着脱・身の廻りの整理整頓・・・と基本的な生活習慣の自立に向けて1つ1つを教師と一緒にしてきました。本園の「体験型教育」の中で様々な事に興味・意識を高めながら進み、自分で行う喜びや満足感。教師や友達と一緒に過ごす楽しさを感じられるようになり今ではどもお子さんも元気いっぱいです。

自分の思い通りにはならない我慢や悔しさも覚え、お友達を思いやる優しさも身に付け、身体だけではなく心も1年前とは見違えるほどに成長しました。

どの様な場面を思い出しても、お子さん達の純粹無垢な心や笑顔に触れ、教師も数えきれないほどの喜びや元気を頂きました。沢山の思い出を紡ぐことができました事をお子さん達・保護者の皆様に感謝しますとともに、来年度のさらなる成長を願っています。

